

犬に与える骨付き生肉

自然界で自力で生きていかねばならないイヌ科の動物達は、良い食べ物を簡単に識別することができます。彼らの食べ物には、這う、うねる、くねる、走る、泳ぐ、飛ぶものは何でも含まれます。貴方がもしもペットのために、動物の丸ごとのカーカス(屠体)を入手できているのなら私は貴方を称賛します。しかしながら現代の我々の社会では、その代替を探す必要があります。その点において、骨付き生肉と食卓の残り物が驚きの健康効果を発揮するのです。

どんなに新しいベンチャーでも、知識があるほど仕事はやりやすくなります。そして、知識を得ることで、恐れていたことは無意味なものへと消えていく傾向があります。ちなみに、恐れ (FEAR) とは、(False Expectations Appearing Real=間違った予想が現実かのように見えてしまう)の頭文字なのです。幸い犬達は、我々が感じる恐れを共有することはまずなく、始めて与えられる骨付き生肉をペロリと平らげます。

「食事の手引き」には、適した骨付き生肉とオフール(臓物)のリストが載っています。食卓の残り物は、注意すべき例外の加熱調理した骨や、玉葱、ニンニク、レーズンなどを除けば、貴方の食卓のお皿にあるものなら、殆どどんなものでも構いません。

状況はそれぞれ個々によって異なり、犬の年齢や大きさも様々です。それでも、ある程度は一般化が可能です。

質

自然の理想にできるだけ近づくに越したことはありません。与えられる時はできるだけ丸ごとのカーカスを与え、それ以外の時は、様々な動物の大きなサイズの骨付き生肉を食事の基礎として与えてください。とはいえ、オオカミはしばしば鹿など、一種類の餌動物の肉に頼ることがあり、ペットの中には毎食鶏を食べている犬も多くいます。

量

食生活の70%以上が骨付き生肉になるよう目指してください。それ以降の残りの割合は、オフール、食卓の残り物、そして大きな塊肉、或は、さらに骨付き生肉で構成することができます。自然は、ありがたいことに寛容で、様々な選択肢が許され、どれも健康をもたらしてくれます。

毎日の食べ物の摂取量は、個々によって異なります。体重の割合からすると、超大型犬種は、体が大きい割にはそれほど食べ物を必要とせず、反対に小型犬種は、体の割に食べ物をより多く必要とする傾向にあります。使役犬、繁殖期もしくは授乳中のメス犬、そして成長期の子犬は、運動量の少ない犬よりも、食べ物を多く必要とします。

目安として、健康な大人の犬は、毎日通常、体重の2%~3%の食べ物を必要とします。一週間に換算すると、それは体重のおよそ15%~20%となります。例えば、貴方の犬が10kgだとすると、毎週大体1.5kg~2kgの骨付き生肉が必要になるとい

うことです。

ポンドの単位で測っても、総計は同じです。貴方の犬の体重が20ポンドだとします。だとすると毎週3〜4ポンドの食べ物を与える見通しとなります。

成長期の子犬に食事を与える場合の確かな経験則は、「彼らが完全に成長した時の体重」の2%〜3%に相当する分量を毎日の食事量にすることです。

回数

野生の犬は、決まった食事時間はなく、食べ物が手に入る時に腹一杯食べることに慣れていています。時には、次の食事でありつけるまで、何日もかかる場合があります。家庭環境の場合、食事は一日一回与えるのが、殆どのペットとオーナーにとって一番上手いくようです。犬に食事を与える時間は、貴方が家にいて、犬が食事を喜んで食べるのを見守ることができる時が良いでしょう。殆どの人にとって、それは夕方時間帯になります。

骨付き生肉は、常に一つの大きな塊で与えるように努力してください。それにより、ガジガジ齧（かじ）ったり、噛んだりする時間を最大限にすることができ、デンタルクリーニングに有効的です。さらには、そうすることで、小さな破片をそのまま飲み込んで詰まらせる危険性も少なくなります。

健康な犬は、毎週1日か2日の絶食によって良い健康効果が得られます。研究によると、スリムな犬は（人間もそうですが）、より健康で長生きする傾向にあることが示されています。病気や高齢の犬、そして成長期の子犬は、絶食させるべきではありません。

はじめに

始めは、シンプルにしておきましょう。時間と共に、色々な種類の動物の骨付き生肉とオファールを与えるように進めていくとよいでしょう。最初の二週間位は、一の素材に絞ってください。鶏は比較的安く手に入ります。とても小さい犬には、鶏の手羽やモモを与えると良いでしょう。大きい犬は、丸鶏が必要になるかもしれません。そして経済的にも、人間の食用の肉が殆ど取り除かれた鶏ガラは、良き食料となります。

その他には、どのような準備が必要でしょうか？食卓の残り物を与えるための器が必要になるかもしれません。主食のアイテムである大きな骨付き生肉の塊とオファールに関しては、ただ単にそれらを貴方の犬に渡してください。それは、犬が快適に食事ができる芝生がある場合は簡単でしょう。しかし貴方の犬が室内で食事をしなければならない場合は、キッチンや洗濯場、或はシャワー室で与えてください。新聞紙やタオル、又はマットを敷くことで、掃除が楽になります。

注意を払い、楽しんでください。

骨付き生肉は、自然の歯ブラシ、歯磨き、デンタルフロスとしての役割を兼ね備えています。口臭や歯茎に炎症がある犬の多くは、二週間ほど自然食を与えることで健康

な口内を取り戻します。けれども、より深刻な歯の問題を抱える犬は、自然食を始める前に歯科治療が必要になるかもしれません。（12歳のマルチーズのテスが[歯科治療を受けている様子](#)と、その後の[目覚ましい回復](#)をご覧ください。）

犬は骨がとっても好きなため、骨を死守しようとする時があります。食事中の犬に幼い子供を近づかせないように呉々も注意してください。詳しくはプロのドッグトレーナーがアドバイスしてくれるでしょう。

始めて骨付き生肉を貴方の犬に与える瞬間を、すごく重大な瞬間にするか、何の変哲もない瞬間にするかは貴方の自由です。どちらにせよ、それは貴方と貴方のペットにとって全く新しい生き方の始まりになります。従って、カメラを用意しておいたり、日記をつけておくのも良いかもしれません。遠い将来、貴方は誇りを持ってその時のことを振り返りながら、貴方の先駆的努力の証をお孫さんと共有することができるでしょう。

この記事は、個人使用に限りコピーし配布することができます。
貴方と貴方の大切なペットに最高の健康を祈りつつ。
トム・ロンズデール 2007年10月